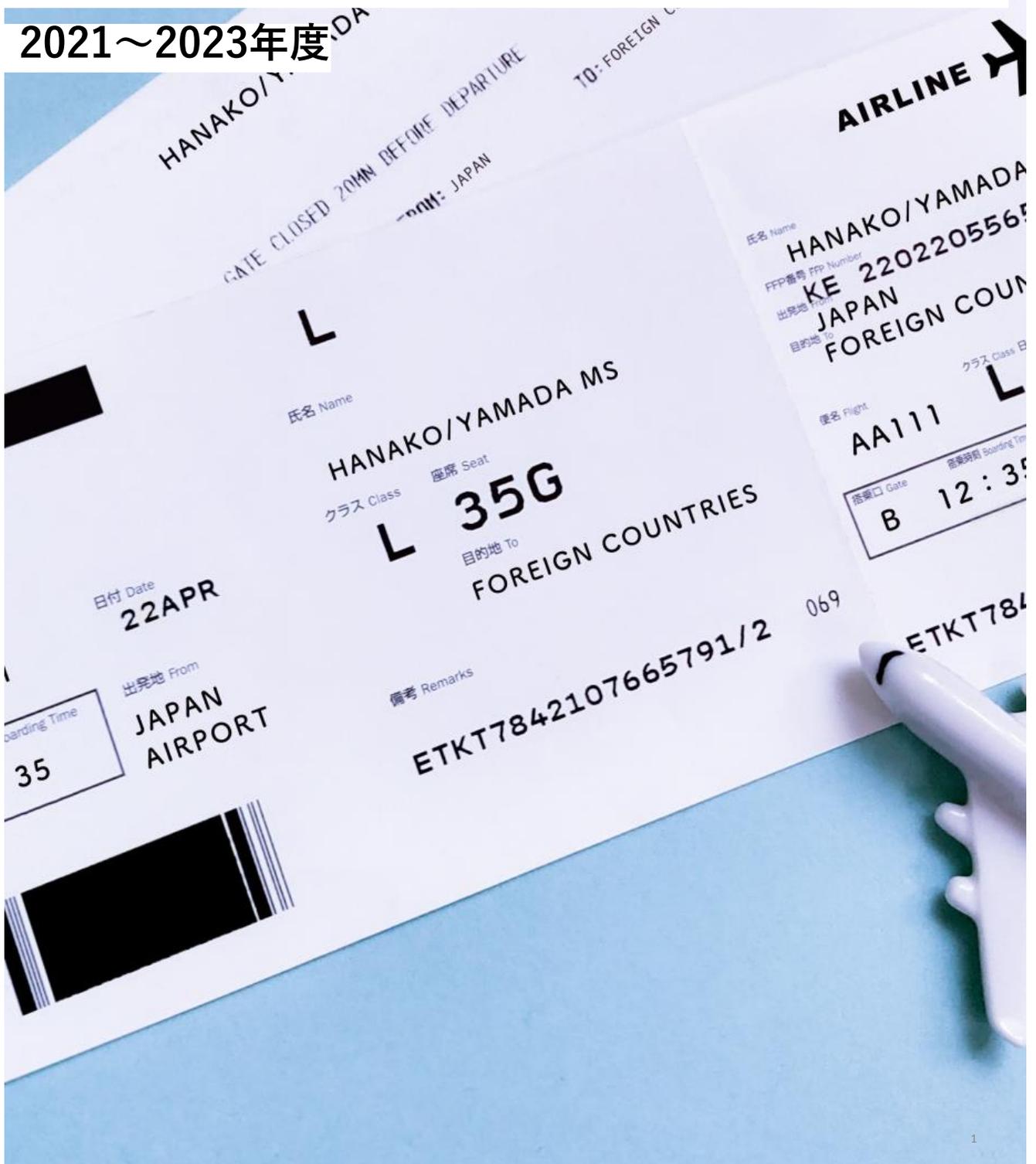


# 岩手大学

# 海外留学体験報告

2021~2023年度



# 目次



## トビタテ！留学JAPAN（全国版・地域版）



Page

4

「スイスのヒツジ・ヤギを学ぶ」 スイス  
（いわて協創グローバル人材育成プログラム 旧トビタテ！地域版）

6

「昆虫食の基礎研究に寄与する研究者を目指して」  
カナダ（トビタテ！全国版）

8

「家族経営型酪農の魅力を発信する」 フランス  
（いわて協創グローバル人材育成プログラム 旧トビタテ！地域版）



## 交換留学



10

「コロナ禍の留学」  
アメリカ合衆国 テキサス大学オースティン校

12

「我人生第一次的外國生活」  
台湾 国立高雄師範大学

14

「長期留学への挑戦」  
アメリカ合衆国 テキサス大学オースティン校

16

「たくさんの出会いと発見があった台湾生活」  
台湾 国立高雄師範大学

18

「Home is where the heart is」  
アメリカ アーラム大学

## 短期留学

20

「タイ国際研修」  
タイ キングモンクット工科大学トンブリ校

22

「たくさん食べてたくさん学んでたくさん遊んだ韓国研修」  
韓国 群山大学

24

「相手をおもんぱかることを学んだ1週間」  
韓国 ハンバット大学

26

「日本語教育実習 in タイ」  
タイ サイアム大学

28

「タイでの英語教育実習」  
タイ プアンプログラム

## 動画での留学体験報告

動画

【2023 岩手大学国際月間】  
【-Iwate University International Month】

## 留学のタイトル：「スイスのヒツジ・ヤギを学ぶ」



留学先：スイス／Zürich／Berg am  
Irchel／Bungerthof  
留学期間：2023年 2月～3月  
(2か月)

氏名：小澤 茂々花  
留学した時の学年：3年  
学部・研究科名：農学部  
学科・課程名・コース名：共同獣医学科

### ● 留学の内容

2週間Zürichで語学学校に通いドイツ語を学んだ。同時に都市部でヒツジ・ヤギの肉やミルクがどれだけ生活に浸透しているかを調査した。

1か月Zürich郊外の農場に滞在してヒツジの飼育方法、搾乳等を学んだ。

### ● 留学の動機

ヒツジ・ヤギの魅力+アルプスの少女ハイジ（乳用のヤギの放牧飼育）への憧れ



スイスの農場へ留学

スイスでどうヒツジを飼育しているか、ヒツジ・ヤギの人の食生活への浸透、日本との違いと共通点は何か・・・を知りたい。日本でのヒツジ・ヤギの魅力の普及につなげたい。

### ● 留学の成果

冬～春におけるヒツジ飼育方法、ヒツジの搾乳（手で！）、ヒツジの放牧と集めるやり方、地域に溶け込む農場のスタイル、循環型農業、ヒツジ・ヤギミルクの市場と家庭への浸透

### ● スペシャルエピソード

農場内では、手で搾ったミルクをそのまま飲む。日本では加熱殺菌されたミルクしか飲む機会がないため、初めての搾り、生で飲むまだ温かいヒツジのミルク。初めは少し怖かったけれど、飲んでみるととてもおいしい。帰る日まで、毎朝パンかシリアルとヒツジミルクだった。

### ● これから留学したい人へアドバイス

私は言語に不安が残ったまま行っただが、英語で何とかコミュニケーションをとることができた。けれど、みんなのドイツ語のおしゃべりがわからないのはつまらないし、寂しかった。行ってから伸びた部分もあるが、あっという間に終わってしまうので、行く前にできるだけたくさん現地の言語とその国のことを勉強してから留学に行くと、楽しさも学べることも増すと思う。

● 留学費用について

①総費用：約700000円

(内訳 渡航費220000円、学費180000円、宿舍費160000円、現地交通費60000円、食費20000円、ビザ・保険料20000円、お土産代他 30000円… )

②費用負担 親からの支援200000円、留学奨学金500000円

③使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード (VISA, Mastercard) 90%、トラベルプリペイドカード (カード名) 0%

● 留学先宿舎について

・形態：ホームステイ、ファームステイ

・家賃額： Zürich語学学校 2週 160000円 (朝夕食費、光熱費含む)

Berg am Irchel農場1か月 0円 (朝昼夕食費、光熱費含む)

・参考情報：農場滞在時は、無給で仕事をする代わりに寝食が提供されるボランティアWwoofを行った。

● 語学力について

・現地で使用した言語：英語、ドイツ語

・語学レベルUP：

・適正レベル：

● ビザについて (取得した方)

● 単位互換について (該当ある方)

● ネット環境及びその他の参考情報

プリペイドSIMカードを購入して利用した。Wi-Fiがない外出時は最低限の利用にしたため、1か月5ギガで十分だった。

● 留学中の主なスケジュール (農場滞在時の例)

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	8時-羊の搾乳、動物の世話、畑の手伝い	休み (羊のスケッチ、楽器練習、散歩)
火曜/2日目	同上	同上
水曜/3日目	同上	同上
木曜/4日目	同上	同上
金曜/5日目	同上	同上
土曜/6日目	電車でお出かけ	
日曜/7日目	電車でお出かけ	



写真① Der Zürich See (Zürich湖)



写真② 夜は小屋の中



写真③ 農場がある小さな村 Berg am Irchel

## 留学のタイトル：「昆虫食の基礎研究に寄与する研究者を目指して」

留学先：カナダ／サスカチュワン州／サスカトゥーン  
University of Saskatchewan

留学期間：2021年 3月～ 4月

(コロナウイルス感染拡大のため、4月以降は  
オンライン留学) 計11か月

氏名：瀧田 燿平

留学した時の学年：修士1年

学部・研究科名：総合科学研究科

学科・課程名・コース名：農学専攻



### ● 留学の内容

人口増加や気候変動により将来の食糧が心配される中、特に重要視されているのが動物タンパク源です。その解決策の一つが昆虫食であり、従来の家畜に加えて少ない資源で生育し、動物タンパクを供給できると期待されています。サスカチュワン大学にて、農産物廃棄物を利用して栄養価を高めた昆虫を作り出す手法について研究するため、トビタテ留学ジャパンの支援を受けて研究留学を行いました。

### ● 留学の動機

幼少期から昆虫が大好きな虫取り少年でしたが、高校生の時に昆虫を使って社会に役立てる研究をしたいと思うようになりました。その際、食料分野をはじめとする社会実装しやすい研究について興味を持ち、その一つが昆虫食分野でした。大学生の頃は国内で昆虫食研究を行える機関を探しましたが、当時はほとんどなかったためカナダで昆虫食について研究するTanaka先生に師事しました。

### ● 留学の成果

海外の研究環境を知ることができたのが、最も大きな学びとなりました。カナダでの研究に取り組む姿勢は効率を重視しており、限られた時間で高い成果を目指しているように感じました。ほかの研究環境を知らなかった自分にとって、その環境を直接経験できたことはとても貴重な機会でした。

### ● スペシャルエピソード

留学先で、突然明日からコロナウイルス感染拡大により学校閉鎖になると言われたのが衝撃的でした。数日前まで活気があった学内も、あっという間に人がいなくなり店なども閉まっている光景は今でも忘れられません。こうした状況を国外で経験したことで、自身の危機対応力が向上した気がしています。

### ● これから留学したい人へアドバイス

大学生の間に何かをしたいけど何をすればいいのかわからない方にとって、留学は最適な機会だと思います。留学は現地にいる時間だけでなくその準備や帰国後の交流など、様々な機会で自分の価値観をアップデートするチャンスがあります。

また、もしも留学に行きたいが経済的な問題で一步を踏み出せない方がいれば、トビタテをはじめとする給付型奨学金を獲得することで夢への一步目が踏み出せるかもしれません。「良い留学は良い準備から」のように、少しでも興味があれば国際課を訪ねて情報収集をおすすめします。

## ● 留学費用について

- ①総費用：65万円（留学期間のうち9か月はオンライン留学だったため）  
（内訳 渡航費 25万円、学費 1万円？（単位を取らない私費留学生だったため）、宿舎費 22万円、食費5万円、ビザ・保険料 約12万円、）
- ②費用負担：留学奨学金 200万円
- ③使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード（Mastercardが便利） 90%、

## ● 留学先宿舎について

- ・形態：ホームステイ
- ・家賃額：月額 11万円（食費や光熱費、たまに大学までの送迎サポートなども含む）
- ・参考情報：2度目のホームステイだったので、なんとなく距離感がつかめておりとても快適でした。子供がいる家庭を選ぶと会話の機会が増えてオススメです。女性にはお土産として日本の美容グッズがとても喜ばれました。

## ● 語学力について

- ・現地で使用した言語：英語
- ・語学レベルUP：TOEIC 650点 → TOEIC730点
- ・適正レベル：TOEICでリスニング9割以上、TOEFLで75点以上あると効果的な成長ができると思います。

## ● ネット環境及びその他の参考情報

- ・パソコンはもちろんのこと、iPadのようなデバイスもあると便利だと思います。講義の内容を直接書き込んだり、ペーパーレスにできる点が大きな魅力です。
- ・Wi-Fiについては、大学構内をきちんとカバーしていますがやはり現地でSIMカードを入手するとQOLが上がるように思います。
- ・海外にもフリマアプリがあるので、必要なものを安価に入手できないか活用してみるといいかもしれません。

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	研究室にて実験、レポート作成	研究の続き、図書館で作業など
火曜/2日目		
水曜/3日目		
木曜/4日目		
金曜/5日目		
土曜/6日目	ホストファミリーと一緒に散歩	ホストファミリーの親戚家族と一緒に過ごす
日曜/7日目	ホストファミリーと散歩やゲームで遊ぶ	夕食の買い出しなどショッピング



ロックダウンで理髪店が閉鎖したため、ホストファミリーに切ってもらいました



大学内は空調設備が整っており、冬場でも木々が育っています



ホストファミリーの庭にて。冬は-30℃近くになることも

# 海上 晴香

岩手大学 農学部共同獣医学科 4年

留学先： フランス アルザス地方

留学期間： 2023年8月～9月（1か月）

## 1 留学テーマ

家族経営型酪農の魅力を発信する。

## 2 留学先での取り組み内容及び成果

### ○ディジョン大学

#### 〈活動概要〉

- ・午前、ディジョン大学で開催される短期語学学校にてフランス語を学習した。
- ・午後、授業がない日には、ディジョン地方にある農場を調べ、自転車を活用して直接訪問した。

#### 〈成果〉

- ・ディジョン大学の短期語学学校では、Truttenhausen農場で使用できるフランス語を中心に学ぶことができた。主にフランス語を話す農場経営者とも、円滑にコミュニケーションを図ることができた。
- ・午後の農場訪問では、ディジョン地方にある二つの農場を訪れた。一つ目は、d'Ani'nomadeという福祉動物を飼育している教育農場で、二つ目は Ferme de chateauという野菜販売や近所の農場と共同でマーケットを開いている農場である。d'Ani'nomadeでは、動物を活用した子供達への教育や、病院患者に対する心の治療を行っていた。この農場の見学により、フランス人の動物に対する新たな見方を感じることができた。Ferme de chateauでは、フランスならではの売り方（農産物を消費者が収穫し量り売りを行う。）や、地元の食材を集めた場所を農場内に作り、販売するやり方を知ることができた。

### ○ツルッテンハウセン農場

#### 〈活動概要〉

平日三日間は午前と午後に分かれて作業に参加した。

午前中は乳製品作りに関してであり、午後は放牧と搾乳についてである。

週末は市場が土日のどちらかで開かれているため、市場で農場の商品を売るための手伝いをした。

#### 〈成果〉

- ・当農場での魅力発信の方法について様々な角度から知ることができた。
- ・フランス人の乳製品についての考え方や情熱について、生産者側と消費者側の両方の目線に立って知ることができた。
- ・市場での商品販売の経験から、農場のお客さんと農場とのつながりを感じることができた。
- ・順序の交差はあったが、truttenhausen農場での研修では、商品の始まり（原材料生産）から終わり（お客様への販売）までの流れに携わらせていただいた。それにより、一商品ができることの大変さについて身をもって感じる事ができた。
- ・牧場の生活を通して、牧場の魅力を身を持って体感し、思い出として自分の記憶に刻むことができた。その思いは、何か辛いことに直面した時も、私を強くしてくれます！

## 3 当プログラムに参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

### 協賛企業様

この度は、私の留学プロジェクトに多大な出資をしてくださり、誠にありがとうございました。一次書類を出した時からさかのぼると約一年間、このプロジェクトを通して多くの経験をさせていただき、誠に有意義でした。

私は、大学進学のために初めて、東京都から岩手県に引っ越してきました。それから約3年経ちましたが、緑あふれ、地域性のある岩手県が大好きになりました。今回の留学を通して、多くの地元企業さんとのインターンシップを行わせていただいたことや、協賛企業さんのサポートの元留学が成り立っていることを考えると、勝手ながら、より岩手県を身近に感じるようになりました。

残り三年間の学生生活が残されていますが、その学生生活の間にこの留学を通して学んだことを生かし、岩手県の発展に尽力していく所存です。



#### 4 留学費用について。

約30万円；交通費(飛行機のチケット+フランス内での交通費)。

約5万円；生活費。

約7万円；語学学校費。

約20万円；語学学校での滞在費+サポート費。

約2万円；保険費用。

約5万円；その他。

47万円の奨学金をいただき、22万円を自費で出しました。

#### 5 語学力について。

フランス語。

留学前は Duoringo というアプリケーションを使用してフランス語を学び、

- ・簡単な挨拶
- ・日常的な単語(動物や代名詞、乗り物、食べ物)

の知識を身に着けました。

留学後、私の知識として、

- ・日常的な単語(天気、数字、服、学校関連)の知識。
- ・日常的に使う文章(天気、時間、お店でのやり取り、相槌、返答の仕方)が増え、
- ・知っている単語や文章の聞き取りができるようになりました。

#### 現在の活動(連絡先)

留学を通して、家族経営型酪農の魅力を発信する方法として、

『ナチュラルチーズを通じた、生産者さんの発信』が、日本において大切だと考えました。

理由は、

ぜひ、一度のぞきにきてください！(留学の相談でも、dmで受け付けます！)

『ナチュラルチーズを広めたい獣医学生』



@CHEESE.DREAMER456

ナチュラルチーズを  
広めたい  
獣医学生

○美味しさ

○香り

○美しさ

○物語

○変化する味の深み

○生産者さんによって  
込められた想い



## 留学のタイトル：「

## コロナ禍の留学



留学先：国 アメリカ合衆国／地域 テキサス州／  
都市 オースティン／  
機関名 テキサス大学オースティン校  
留学期間：2022年 1月～ 5月

氏名：古舘 瞭  
留学した時の学年：3年  
学部・研究科名：人文社会科学部  
学科・課程名・コース名：地域政策課程

## ● 留学の内容

大学3年生の冬より約半年間、アメリカ合衆国テキサス州のテキサス大学オースティン校に交換留学をしました。リベラルアーツ学部を選択し、現地では政治を専攻して学びました。当時は、ウクライナ危機の真っただ中であったため、アメリカの政治を学ぶと同時に世界で進行する時事的なニュースにも関心を持って学ぶことができました。

## ● 留学の動機

主な理由としては、英語への関心が高く、かつアメリカの大学で学ぶことに対する意欲も高かったからです。

## ● 留学の成果

望んだ講義を履修できたことはもちろんですが、一番の財産は留学を勝ち取るために鍛えられた強い行動力と積極性、そして普段の大学生活では接することのない人達といかにして円滑なコミュニケーションをとり物事を進めるか。それは一連の過程を経なければ得られなかった大きな経験となりました。

## ● スペシャルエピソード

コロナウイルスの影響で、アメリカへの渡航さえも危ぶまれていたが、無事渡航をすることができました。現地に到着してからは財布を無くしたり(見つかりましたが)、ホームレスに街で絡まれたりといういろいろありましたが、大きな失敗や身の危険はなく、留学を終えることができました。

## ● これから留学したい人へアドバイス

海外留学をするということは、慣れ親しんでいる土地や人から離れ、全く異なる文化の中で生活するということを意味する意味するので、様々な困難を伴いますが、それらの困難を自力で乗り越えたという経験は今後の人生にとって確実に生きてくると考えます。語学力や学力はもちろんですが、異なる環境で自分の力を使って問題を解決する能力が留学を通して身につけられます。

## ● 留学費用について

①総費用：2,000,000円

(内訳 ビザ申請関係費58,000円、出発前準備220,000円、寮関係費841,000円、交通費231,000円、大学関係189,000円、コロナ関係289,000円、その他254,000円)

②費用負担 自己負担580,000円、親からの支援1,270,000円、留学奨学金150,000円

③使ったお金の割合：現金5%、クレジットカード（学生LIFEカード、三井住友カード） 95%

## ● 留学先宿舎について

・形態：大学寮

・家賃額：月額 156,000円（食費・光熱費含む）

・参考情報：家具は基本的には備えあり。(冷蔵庫、レンジ、デスクなど) 寝具、デスクライト、洗剤等は購入。

## ● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：あくまで交換留学なので、ある程度の英語力は身につけた上で渡航しました。振り返ってみると、英語を使った会話に自信が持てるようになったことや、語彙力が上がったなど、成果は十分に得られたと感じます。

・適正レベル：ネイティブとの会話に困らない程度(話す聞く両方)

## ● ネット環境及びその他の参考情報

・少なくともパソコンは必須。(レポートやメールに頻繁に使用するため)。個人的にiPadを持って行ったが、あるとやはり便利。Wi-Fi環境は基本どこにでもあるので、不便はしない。

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日	午前	午後
月曜	講義×2	その日の課題や復習
火曜	買い物や観光	講義×1
水曜	講義×2	その日の課題や復習
木曜	買い物や観光	講義×1
金曜	講義×2	その日の課題や復習
土曜	運動や外出	勉強
日曜	運動や外出	勉強



パーティーでの様子

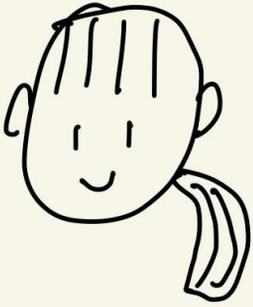


寮の部屋



基本的な食事

## 留学のタイトル：「我人生第一次的外國生活」



留学先：台湾／高雄市／  
国立高雄師範大学

留学期間：2022年 9月～ 2023年 8月  
(1年)

氏名：小山田 彩乃

留学した時の学年：2年

学部・研究科名：人文社会科学部学部

学科・課程名・コース名：人間文化課程

## ● 留学の内容

2022年9月から2023年8月までの1年間、台湾南部の都市、高雄市にある国立高雄師範大学に交換留学生として留学しました。平日の午前中（9時から12時まで）は、ほぼ毎日、大学の敷地内にある語学センター（語教中心）で中国語の授業を受講していました。午後は、大学の授業がある時は授業に行き、無い時は図書館に行って勉強をしたり、外に出かけたりしました。休日は、高雄市内を観光したり、別の県・市に旅行に行ったりしました。

## ● 留学の動機

1つ目は、中国語能力を高めたいと思ったからです。2つ目は、より多くの他の国の人と交流し様々な考え方や見かたに触れたいと思ったからです。3つ目は、アジアで初めて同性婚を実現するなど、性的少数者に寛容な国と言われている台湾の人々がジェンダーに対してどのような意識があるのか知りたいと思ったからです。

## ● 留学の成果

1年間の留学を通して、中国語が実際に使えるという手段・方法としての言語に変わったと感じています。また、多くの人との交流を通して、台湾では個人の意見や考えを尊重しようとする意識が強いと感じました。留学中には、中国語を母語としない人と話す機会もたくさんありました。自分が相手に伝えたい内容を別の言葉に変えて伝える力が身に付き、他の人と交流する際に必要なものは言語ではなく、相手の言いたいことをわかるうとする態度や、自分の言いたいことを相手に伝えようとする姿勢なのではないかと思いました。

## ● スペシャルエピソード

台北に旅行に行った時、アプリを使って予約していたホテルに入ろうとしたら、アプリの誤作動かで予約が勝手にキャンセルされていることがありました。その時は夜の11時過ぎで、急いで別のホテルを探さないと焦っていたら、同じホテルに入ろうとしていた台湾の男性が手伝ってくれて、新しいホテルを探すことができました。

## ● これから留学したい人へアドバイス

分からないことがあれば「分からない」と意思表示をすることが大切だと感じました。慣れない場所での生活や、第二言語の使用で、何かしらの問題や疑問が何度も出てくると思います。そんな時は、周りの人に積極的に質問してみてください。分からないことを聞くということも勉強につながると思います。何事も失敗を恐れずにチャレンジしてみてください。

● 留学費用について

①総費用：996,000円

(内訳 渡航費185,400円(2月に一度帰国)、学費0円、宿舍費81,000円、光熱水費0円、エアコンの電気代5,000円、食費363,000円、ビザ・保険料135,000円、隔離タクシー・ホテル代38,000円、旅行費135,000円、その他)

②費用負担 自己負担26,000円、親からの支援700,000円、留学奨学金270,000円

③使ったお金の割合：現金90%、クレジットカード(VISA) 3%、トラベルプリペイドカード0%、その他(デビットカード) 7%

● 留学先宿舎について

・形態：大学寮(6人部屋)

・家賃額：一学期 約27,000円(光熱水費含む、エアコンの電気代・長期休み時の費用を含まない)

・参考情報：家具は机、椅子、棚、クローゼット付き、寝具は各自で購入。トイレとシャワーは共同で使用、掃除のおばさんが掃除をしてくれます。キッチンや冷蔵庫はなく、使いたい場合は自分で電気鍋をかったり、冷蔵庫を持ち込んだりします。留学生は少なく、現地の学生と同じ部屋になる可能性が高いと思います。

● 語学力について

・現地で使用した言語：台湾華語(中国語)

・語学レベルUP：簡単な中国語が分かる→現地の人と会話ができる、中国語で大学の授業が受けられる

・適正レベル：ピンインまたは注音、簡単な中国語が分かる人

● ビザについて(取得した方)

居留ビザ(シングル)、申請費用8,900円+健康診断の費用+申請場所(東京)までの交通費

● 単位互換について(該当ある方)

体育・バレーボール(1単位)、体育・バスケットボール(1単位)、音楽(2単位)、発達心理学(2単位)、健康医学と保健(2単位)

これから単位振替をする予定です。

● ネット環境及びその他の参考情報

月額約2,600円で使い放題のプランを1年間契約しました。Wi-Fiがあっても弱いところが多いので、使い放題プランはとても良かったです。モバイルバッテリーを持ち歩くと安心です。

● 留学中の主なスケジュール

曜日	午前	午後
月曜	中国語の授業(9~12時)、学食で昼食	大学の授業 散歩、買い物
火曜		
水曜		サークル活動
木曜	外で昼食	
金曜		
土曜	旅行、観光orゆっくりする	
日曜		



高雄師範大学



新鮮なマンゴーはとても美味しいです



台南市の大東夜市

**留学のタイトル：「 長期留学への挑戦 」**

留学先： アメリカ合衆国／テキサス州／オースティン／  
テキサス大学オースティン校

留学期間：2022年8月～2023年5月（10ヶ月）

氏名：千葉 しずく

留学した時の学年：4年

学部・研究科名：人文社会科学部

学科・課程名・コース名：人間文化課程

**● 留学の内容**

主に、LGBTQ研究とアメリカの黒人女性の歴史に関する授業を履修し、ジェンダー学の基本的な理論を学びました。学業に加えて、ボランティア活動にも積極的に参加し、女性やLGBTQIA+の学生をサポートする活動や日本文化を広める活動に取り組みました。130か国以上から6000人以上の留学生が集まる国際的な環境での留学を通して、文化の違いを学び、多様なバックグラウンドを持つ人々と協働する機会を多く得ることができました。

**● 留学の動機**

将来は国際的なキャリアを目指していたため、留学を通して「英語のコミュニケーションスキル」の向上と、「異なる背景を持つ人々と協力するスキル」を身につけたいと思いました。また、海外の大学院進学を考えていたので、英語での学業経験を積むことが重要だと思いました。

**● 留学の成果**

留学で得た最も大きな成果は、ジェンダー、人種、階級などの交差性に関する視点を得られたことです。授業や多様な背景をもつ学生との議論を通して、ジェンダー、人種、エスニシティ、障がいなどの要素により、様々な社会的差異が生まれていることを学びました。これは、比較的同質性が高い日本で生活している私にとって、以前は気づけなかったことです。

**● スペシャルエピソード**

共通の友人を通して香港から来た交換留学生と知り合い、土曜日に初めて対面で会うことになりました。その前日に、新入生向けのイベントに参加したのですが、少し遅れて到着したので、ある6人グループの席に加わることになりました。そこで週末の予定について話していたところ、私の隣に座っていた留学生が「明日、日本人の交換留学生と会う」と言いました。まさか！と思い、自分も会う約束をしていると伝えたところ、なんと彼女は次の日に会う約束をしていた留学生でした！事情がわかった途端、あまりにも驚きすぎてお互いぼかんとしていたことを今でも覚えています(笑)次の日に、改めてふたりで食事をし、その後も数回会うほど仲良くなりました！あの日の奇跡的な出会いは一生忘れないと思います(笑)

**● これから留学したい人へアドバイス**

- 留学に迷っている人へ：まずは情報収集から始めましょう。留学経験者からアドバイスを得たり、相談することで、留学の具体的なステップが明確になり、行動しやすくなります。また、小さな経験を積んで自信をつけるのも効果的です。長期留学はハードル高いと感じた場合は、短期の海外研修やボランティア活動を検討してみましょう。短期の経験を積むことで、海外生活に慣れたり、自信をもてるようになり、長期留学に向けた一歩を踏み出す準備ができると思います。
- 渡航予定者へ：留学中は、自分に限界をつくらず積極的に挑戦し、様々な経験を積んでください。テキサス大学は、施設やイベントも充実しています。自分なりの楽しみ方を見つけ、充実した留学生活を送ってほしいと思います。

● 留学費用について

① 総費用：3,001,082円

内訳：VISA関連 82,690円、保険料107,952円、渡航費 301,990円 左記以外の渡航前準備 269,094円、宿舍費（光熱水費・食費含む）1026,710円、通信費 81,576円、大学関連費（授業登録費含む）463,997円、生活費 227,310円、お土産代 46,100円、旅行費用 374,716円 他

② 費用負担：親からの支援、イーハートブ基金20万円、人文社会科学部補助金7万円

③ 使ったお金の割合：現金 10%、クレジットカード（三井住友、三菱UFJ、イオンクレジットカード）70%、現地につくったUFCU(University Federal Credit Union) のデビットカード 20%

● 留学先宿舍について

・形態：民間アパート (Taos Co-op)

・家賃額：月 約100,000円（食を費・光熱費含む）

・参考情報：キャンパスから歩いて15分ほどの場所にあるアパートで、約100人（ほとんどが学生）が住んでいます。2人部屋と1人部屋があり、トイレとシャワーは共同です。必要な家具はほとんど揃っています。アパートの運営は住民が中心となって行っており、このおかげで家賃は大学寮よりも手頃です。住む条件として、週に4時間の労働（料理や掃除など）とミーティングに参加が必要です。現地の学生や交換留學生が多く住んでおり、交流の機会が多いです。

● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：特に、英語でのコミュニケーションスキルが向上したと感じています。

・適正レベル：一般的な条件であるTOEFL80以上は必要だと思います。

● ビザについて（取得した方）

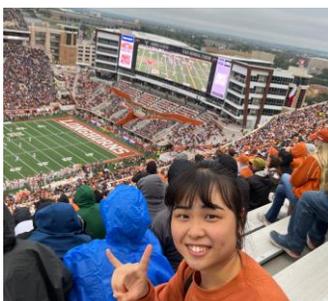
4月ごろにオンラインで申請し、6月ごろに東京で面接を受けました。交換留学の場合、非移民ビザのJ-1を取得することになります。渡米の予定日の少なくとも3ヶ月前に申請を行うことをお勧めされています。

● ネット環境及びその他の参考情報

学内はWi-Fiが通っているため、ネット環境は問題ないです。パソコンは必須です。基本的に物価が日本よりも高いので、生活必需品や文房具は可能な限り日本で準備しておくことをお勧めします。

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	LGBTQ Studies, ラテンアメリカの歴史の授業、学食でランチ	Surveillanceの授業、アパートで夕食、予習と課題
火曜/2日目	バイオリンの授業、学食でランチ	黒人女性の歴史の授業、アパートで夕食、予習と課題
水曜/3日目	月曜日と同様	月曜日と同様、バイオリンの練習
木曜/4日目	火曜日と同様	火曜日と同様
金曜/5日目	月曜日と同様、たまに友人とランチ	たまに、友人と外出
土曜/6日目	部屋の掃除と洗濯	たまに、友人とランニング、外出（買い物、映画鑑賞）
日曜/7日目	授業の課題	たまに、友人と外食、月曜日の予習



UTのスタジアムでアメフト観戦



NASA ヒューストン宇宙センターにて



オースティンのコロラド川でカヤック体験

## 留学のタイトル：「 たくさんの出会いと発見があった台湾生活 」



留学先：台湾／アジア／高雄／  
国立高雄師範大学

留学期間：2022年8月～2023年8月  
(1年)

氏名：高橋 七美

留学した時の学年：2年

学部・研究科名：人文社会科学部

学科・課程名・コース名：人間文化課程異  
文化間コミュニティ専修プログラム

## ● 留学の内容

1年間台湾南部の高雄市へ留学してきました。午前中は大学の中にある語学センターで、毎日3時間の中国語学習をして中国語のレベルアップを図りました。午後は現地の台湾人学生と共に大学の授業を受けていました。放課後はサークル活動にも参加していました。

## ● 留学の動機

一つ目の目的は中国語の能力を仕事で使えるレベルまで高めたいと思ったからです。リスニングとスピーキング能力を強化するには現地で毎日中国語を使いながら勉強することが一番助けになると考えました。二つ目の目的は、私の専攻が異文化間コミュニケーションであり、自分が外国人として海外で生活してみる中で得られる気づきがあると思いました。

## ● 留学の成果

今までは中国語を聞いても頭の中で漢字に変換できず、リスニング問題も理解できていませんでしたが聞いてすぐに理解できたり、話す時も簡単な表現だけでなく、細かいニュアンスの違いを表現できたり、使いこなせる単語も増えました。また、台湾に1年間住んでみて台湾の生活や文化を知れたのはもちろんのこと、日本を外から見てみて日本についても新しく知ることが多かったです。

## ● スペシャルエピソード

夜ご飯を食べたあと、突然バイクに乗ったおじさんから何かを話しかけられ、最初はすごく不審に思っていたのですが、実はスマホを忘れていたことを伝えにわざわざ追いかけてくれた親切な方でした。ちなみに半年後くらいにまたスマホを置き忘れましたが、無事戻ってきました。台湾がいい国でよかったです。

## ● これから留学したい人へアドバイス

何事も徐々に慣れるし、どうにかかります。不安でも興味があれば絶対に留学するべきです。帰国後には留学に行ってきたと思えると思います。

● 留学費用について

①総費用：約120万円

(内訳 渡航費 10万円、学費0円、宿舍費 約1万5千円、光熱水費 約3000円、食費 約54万円、ビザ・保険料 14万円、インターネット月額 約2700円、お土産代 約3万円、旅行費用 約25万 その他数万円)

②費用負担 自己負担 x x x 円、親からの支援0円、留学奨学金0円

③使ったお金の割合：現金80%、クレジットカード（楽天アカデミーカードかDカード） 20%、トラベルプリペイドカード（カード名） 0%、その他（具体的に記載） 0%

● 留学先宿舎について

・形態：大学内の宿舎

・家賃額：月額 5000円（エアコン費含まない）長期休み中は追加料金 1万円くらい

・参考情報：6人部屋に4人で共同生活、シャワートイレ洗濯機も共同、冷蔵庫キッチン無し、ウォーターサーバーは無料

● 語学力について

・現地で使用した言語：中国語

・語学レベルUP：TOCFL（台湾政府の検定）のBound Bもしくは中国語検定2級、HSK5級

・適正レベル：大学で初級もしくは中級中国語を履修したことがある人

● ビザについて（取得した方）

ビザが必須です。現地で居留証へ切り替えなければいけません。

● 単位互換について（該当ある方）

できますが、しっかり計画してから履修しないと振替が難しいです。

● ネット環境及びその他の参考情報

各部屋にWi-Fiがあります。留学用に中古スマホを買って現地ではSIMカードを利用。

● 留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	月から金まで9:00～12:00 語学センターで授業	体育（バスケ）
火曜/2日目	中国語	書道
水曜/3日目	中国語	韓国語、調理クラス（前期）写真撮影クラス（後期）
木曜/4日目	中国語	勉強
金曜/5日目	中国語	勉強
土曜/6日目	出かける、買い物など	自由
日曜/7日目	出かける、寮で過ごす	課題に取り組む



クラスメイト達、先生と



自分と同じ名前の離島に遊びに行きました



麻辣火鍋が一番好きでよく食べました

## 留学のタイトル：「Home is where the heart is」



留学先：アメリカ／インディアナ州／リッチモンド／アールム大学  
留学期間：2022年 8月～ 2023年5月  
(9ヶ月)

氏名：高橋 花  
留学した時の学年：4年（卒業を1年延期しました！）  
学部・研究科名：人文社会科学部  
学科・課程名・コース名：地域政策課程

### ● 留学の内容

全学共通の協定校派遣で、アメリカのリベラルアーツカレッジであるアールム大学に9ヶ月間留学しました。私の興味関心である経済、ビジネスの授業を中心に取っつ、リベラルアーツカレッジの特性を活かして、社会学、東アジア史、プログラミングの授業にも挑戦して複数の視点から学びを深められたと思います。入っていた Student organization はビジネス系のものとダンスクラブです。後は、授業の一環ではありますが、オーケストラに参加していたのとフルートの個人レッスンを受けていました。休みの日は、料理、パーティー、勉強、就活、ダンスやフルートの練習、大学のイベントによく参加をしていました。後は、現地で日本人の方に聖書を教わったり、日本人コミュニティに連れて行ってもらったりしてました。

### ● 留学の動機

留学は、入学当初から大学生活における最終目標の一つでもありました。最初は大学受験に失敗した閉塞感が強く、「とにかく岩手から出たい！」が一番最初の留学の動機でした。大学生活を通して様々な経験をするにつれて、「コミュニケーション能力や環境適応力など人間としての自力を磨きたい」「多様なバックグラウンドを持つ生徒とビジネスを学びたい」等、ポジティブな動機が出てきました。

### ● 留学の成果

①自分で自分の心地よい状態を知り、自分の機嫌を自分で取れるようになった。②自分に対する自信がついた。③人と深く付き合い、コミュニティに所属する暖かさを知った。④自分の個性を出せるようになった。⑤英語力の向上。

### ● スペシャルエピソード

留学先の大学を迷っていた時に、当時お世話になっていた先生のすすめでアールム大学に決めました。学校についての前提知識が全く無く、ノリで決めていざ行ってみたら「全校生徒700人しか居ないの!？」が最初の衝撃でした笑。体感として全校生徒の3分の1は顔と名前が一致するので、「学校のどこに行っても知り合いがいる」という状況は良い面もありつつ最初の数ヶ月間はしんどかったです。

### ● これから留学したい人へアドバイス

行きたいなら行きましょう。やりたいならやりましょう。ただしお金の準備と情報収集は抜きなく。アールムの構内にはど真ん中に“The heart”と言う広場があります。私はそこに寝転がったり、何も無い時間を友達と過ごしたり、とても幸せな時間を過ごしました。アールムは間違いなく私のホームで、大切な思い出です。留学準備は大変で、ストーリーも十人十色ですが、目標を持って物事に真摯に向き合っていれば、きっと皆さんの人生における貴重な財産が得られるはずです。

## ● 留学費用について

### ① 総費用：354万円

(内訳 渡航費45万円、学費36万円(岩手大学授業費)、寮費90万円(光熱水費こみ)、食費76万円、保険料10万円、ビザ・ワクチン代25万円、手数料15万円、渡航準備費10万円、交友・通信・教科書代15万円、冬季期間滞在費：4万円、ボスキヤリ参加費8万円、旅行費20万円)

② 費用負担 自己負担25万円、親からの支援302万円、イーハトーブ基金20万円、人社後援会費7万

③ 使ったお金の割合：現金10%、デビット (SonyBankWallet)80%、クレジット (Mastercard)10%  
私の場合は留学プログラムJASSO不採択&円安で恐ろしいほどお金が飛んでいきました…これを見ている留学希望者の方！今すぐ学外の奨学金をリサーチしてください！！

## ● 留学先宿舎について

・形態：ドミトリ（2人～3人で一部屋をシェア）

・家賃額：一学期約45万（水道光熱費込み）

・参考情報：冬休みは1ヶ月間ドームが閉まります。追加料金で1日20ドルを払えば寮に滞在できますが、割高なので私は近くの教会が運営してる女性限定アパート（一月200ドル水光熱費込み）に住んでました。

## ● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：会話で何を言っているのか分からない→マンツーマンで1～2時間日常会話ができる、調子が良いときは複数人の会話でジョークを挟めるようになる。

・適正レベル：リスニングが苦手だったこともあり、TOEFL80点を取っていても最初は日常会話が全くできませんでした。点数は上げるだけ上げて、英語ドラマやラジオを活用して、生の英語に慣れておくと良いと思います。

## ● ビザについて（取得した方）

ビザ（交流訪問者ビザ）：一ヶ月くらいで取得できたと思います。

## ● 単位互換について（該当ある方）

卒業に必要な単位は取りきって行ったので振り替えしませんでした。

## ● ネット環境及びその他の参考情報

学内はどこに行ってもWi-Fiが飛んでいます。スマホはアメリカ対応のSIMを日本の会社で契約しました。

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	授業（マクロ経済学、マーケティング）	授業（プログラミング）、学内のバイト、課題
火曜/2日目	授業（組織行動学）	授業（東アジア史）、オーケストラ、ダンス練習
水曜/3日目	授業（マクロ経済学）	授業（プログラミング）、バイブルスタディ
木曜/4日目	授業（組織行動学）	授業（マーケティング）、就活
金曜/5日目	授業（ラボ、東アジア史）、ジム	フルートレッスン、ダンス練習、友達とまったり
土曜/6日目	ランチ、ジム	課題、友達とまったり、パーティ
日曜/7日目	ランチ、課題	課題、就活



写真①  
ダンス  
発表会



写真②The heartでの一枚



写真③皆が企画してくれた卒業式

## 短期留学

### 留学のタイトル：「 タイ国際研修 」



留学先：タイ／バンコク  
キングモンクット工科大学トンプリー（KMUTT）

留学期間：2023年 8月27日～ 9月10日  
（2週間）

氏名：橋本 夢花  
留学した時の学年：3年  
学部・研究科名：理工学部  
学科・課程名・コース名：システム創成工学科  
電気電子通信コース

#### ●留学の内容

- ・工場見学：味の素、パッケージング会社など色々な種類の工場へ行った。なじみのある日本企業で気軽に英語で説明を聞いたり質問したりすることができた。
- ・ビジネス専門家からの講義：聴講のみの講義ではなく自らのアイデアを英語で発言する機会が多かった。
- ・研究室見学：KMUTTの生物、物理、電気系などの研究室を見学した。現在進行しているタイで最先端の研究の内容や施設、実験器具の説明を聞いた。
- ・観光：日本では見れないアユタヤ遺跡、水上マーケット、寺院などに行き、KMUTTの学生さんに案内・説明してもらった。

#### ●留学の動機

入学時から、英語能力の向上のため海外に行きたいと思っていたが、パンデミックの影響で海外に行く機会になかなか出会うことができなかった。このプログラムに参加することで、現地で外国人と英語でコミュニケーションできる上、日本と異なる外国文化を学べると思い参加した。

#### ●留学の成果

この国際研修は、英語によるコミュニケーション力の向上はもちろんのこと自分自身が飛躍的に成長できたとても貴重な経験となった。英語に関しては非ネイティブ同士だったので、気軽に会話することができた。また、自分と異なる背景を持った人達と交流することで、違った価値観や考え方を知れたと思う。このプログラムに参加したことで、さらに今後の英語学習へのモチベーションが向上した。

#### ●スペシャルエピソード

このプログラムでは、岩手大学の学生以外にも東京大学、昭和女子大学の学生も参加しており、たくさんの人と交流を深めることができた。1日のプログラムが終わった後は、タイ、日本の他大学の学生みんなで、中華街、ナイトマーケットなどに繰り出し食事や買い物を楽しみ、忘れられない思い出となった。

#### ●これから留学したい人へアドバイス

留学に行くと言語力だけではなく、今までとは違う考え方、価値観にも触れることができるので、学部生のうちに1回は留学に行くのをすすめます。

●留学費用について

①総費用：393,543円

(内訳 渡航費119,610円、KMUTTに支払った費用：213,933円、食費、お土産代他50,000円、保険料10,000円)

②費用負担 自己負担50,000円、親からの支援300,000円、留学奨学金40,000円

③現地で使ったお金の割合：現金40%、クレジットカード(VISA)60%

●留学先宿舎について

- ・形態：ホテル
- ・家賃額：学費と合わせて請求されたため不明
- ・参考情報：朝食付き

●語学力について

- ・現地で使用した言語：英語
- ・語学レベルUP：スピーキング能力が向上した
- ・適正レベル：TOEIC550点以上

●ビザについて(取得した方)

なし(2週間と短期間だったため)

●単位互換について(該当ある方)

去年、すでに国際研修(フィリピン)の単位を取得済みのため、今回は該当なし

●ネット環境及びその他の参考情報

Wifiをレンタルしていったが、値段的にSIMカードがおすすめ。

●留学中の主なスケジュール

曜日/日程	1週目	2週目
月曜/1日目	オリエンテーション、タイの文化について	工場見学、研究室見学
火曜/2日目	工場見学	工場見学
水曜/3日目	工場見学、アユタヤ遺跡観光	マングローブ林ツアー
木曜/4日目	KMUTTの研究室見学	ビジネスの講義(持続可能性)
金曜/5日目	ビジネスの講義(サプライチェーン)	最終プレゼンテーション、閉会式
土曜/6日目	バンコクツアー	空港周辺で自由行動、タイ出国
日曜/7日目	自由行動	日本到着



写真①工場見学



写真②アユタヤ遺跡



写真③参加者の集合写真

## 留学のタイトル：「たくさん食べてたくさん学んでたくさん遊んだ韓国研修」



留学先：大韓民国／ソウル、群山／明知  
大学、群山大学  
留学期間：2023年8月22日～8月31日  
(10日間)

氏名：山内 海奈  
留学した時の学年：2年  
学部・研究科名：人文社会科学部  
学科・課程名・コース名：人間文化過程

### ●留学の内容

群山大学で5日間、明知大学で1日現地の学生と行動する機会があった。両校の学生は日本語学科の学生のため日本語で案内してくれるため、韓国語が話せなくてもコミュニケーションを取ることができた。現地で困ったことがあった際にとっても親切に助けてくれ、短期間の交流であったがとても仲を深めることができた。

### ●留学の動機

1年の前後期に1年間韓国語を履修し、授業内で韓国語や韓国文化に触れる中で韓国に対して興味が生まれた。実際に韓国で生活してみることで食文化や韓国ならではの文化について、この機会に韓国への研修をしてみたいと思い、この研修に参加した。

### ●留学の成果

現地の大学生と一緒に行動することで実際に韓国の大学生がどのような生活をしているのかわかった。韓国人学生と共に行動していると言語に困ることはなかったが、一人で行動すると自分の韓国語が通じずに悔しいと思うことが多かったため、韓国留学をしたいという思いが芽生える良い機会となった。

### ●スペシャルエピソード

タクシーの運転手さんが日本語を少し話せる方でとても優しく接していただきとてもほっこりした。参鶏湯屋の店員さんが食べ方を教えてくれて、韓国の店員さんはさっぱりしている人が多いため、人の温かさに触れることができた。

### ●これから留学したい人へアドバイス

短期でも海外研修に行くことで、日本とは違った文化に触れることにより新たな視点や自分の今後のモチベーションを高めることができると思う。韓国は日本と同じアジア圏のため、にているところや違うところを見つけることがとても楽しかった。興味があればぜひ研修に参加してほしい。

## ● 留学費用について

①総費用：約20万円

(内訳 渡航費 75000円、 宿舎費 34000円、 食費 10000円、 ビザ・保険料 10000円、 お土産代他70000円)

②費用負担 自己負担80000円、 親からの支援80000円、 留学奨学金40000円

③使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード (master card) 90 %

## ● 留学先宿舎について

・形態：学寮、ゲストハウス

## ● 語学力について

・現地で使用した言語：日本語、韓国語

・語学レベルUP：日常的に使う表現を学ぶことができた

・適正レベル：文化交流の為、話せなくても大丈夫だが、観光の際に使える表現は知っておくと安心！

## ● ネット環境及びその他の参考情報

・E-simを購入し、現地でのデータ通信に利用した

・コンセントの電圧や形が違うため事前準備必須！

・カードが使えなかった時のためにもう1枚カードを持っていると安心かも！

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日 / 日程	午前	午後
火曜/1日目	仙台空港から仁川空港に移動	仁川空港から群山大学に移動
水曜/2日目	群山大学の学生と交流 ( 全体行動 )	群山大学の学生と交流 ( 全体行動 )
木曜/3日目	群山大学の学生と交流 ( 韓国文化体験 )	群山大学の学生と交流 ( ペアの学生と自由行動 )
金曜/4日目	群山大学の学生と交流 ( ペアの学生と自由行動 )	群山大学の学生と交流 ( ペアの学生と自由行動 )
土曜/5日目	群山大学の学生と交流 ( ペアの学生と自由行動 )	群山大学の学生と交流 ( ペアの学生と発表準備 )
日曜/6日目	群山大学で報告会	ソウルへ移動
月曜/7日目	明知大学の学生と交流	明知大学の学生と交流
火曜/8日目	自分の行きたい場所で観光・学習	自分の行きたい場所で観光・学習
水曜/9日目	自分の行きたい場所で観光・学習	自分の行きたい場所で観光・学習
木曜/10日目	仁川空港から仙台空港に移動	



カカオフレンズショップ



ロッテワールド



国立ハングル博物館

## 短期留学

### 留学のタイトル：「相手をおもんばかりのことを学んだ1週間」



留学先：大韓民国／大田広域市  
ハンバット大

留学期間：2023年1月28日～2月5日（1週間）

氏名：澤田 拓真

留学した時の学年：修士1年

学部・研究科名：総合科学研究科地域創生専攻

学科・課程名・コース名：社会基盤・環境工学プログラム

#### ●留学の内容

- ・理工学部主催の韓国・ハンバット大との国際交流に参加しました。
- ・学生とICTを用いた防災の在り方について、PBL形式でディスカッションしました。
- ・ほかに研究室配属や韓国各地の視察をし、コミュニケーション力や思考力を鍛えました。

#### ●留学の動機

1. 課題解決力を養うこと。
2. 英語を含めたコミュニケーション力を強化すること。
3. 韓国文化を体験することで、多様な視点を知ること。柔軟な思考を身につけること。

#### ●留学の成果

##### ① 相手に伝わるコミュニケーション

相手に伝えるコミュニケーション術を学びました。PBLをはじめたときに英文法を意識して話していましたが、それだけでは現地学生に意図をうまく伝えることができませんでした。そこで簡単な言葉で話すと、お互いの考えを伝えられるようになりました。相手と自分は専門だけでなく、持つ文化も違う。なので完璧にするのではなく、相手目線を意識したコミュニケーションが大事だと学びました。

##### ② 文化の違いにあるもの

食卓では大量のおかずが出てきます。最初はおかずも完食するように食べてましたが、完食せずに少し残した方が良いと教わりました。この背景には作ってくれた人への感謝があるようです。日本では料理人の想いや頂く命を無駄にしないために食べ残しをしません、韓国では満足したことを示すために食べ残しをします。どちらも感謝の目的がありますが、手段が違うことが面白い点でした。

この経験で相手の文化そのものだけでなく、背景を含めて尊重する必要性を学びました。

#### ●スペシャルエピソード：日本文化の再発見

現地学生との交流でアニメ「SPY×FAMILY」を紹介してもらいました。留学まで日本のアニメに興味がありませんでしたが、作品の魅力を現地学生から教わりアニメに関心を持つようになりました。海外文化を体験するだけでなく、逆に自分たちの文化の良さや面白さを再発見することもできました。

#### ●これから留学したい人へアドバイス

- ・短期間でもいいので学生の中に海外に出てみましょう！風土の違いや人々の活気が良い刺激になります。
- ・海外には自分のやりたいことを自由にできる風土があるところが多いです。当然悪いことはダメですが、自分のやりたいことがあれば遠慮せずに素直に言ってみましょう。小さなことでもその気づきが重要です。

## ● 留学費用について

### ① 総費用：190,000円

(内訳 渡航費 90,000 円、 宿舎費 30,000 円、 食費 15,000 円、 ビザ・保険料 7,000円、 お土産代他 48,000 円、・・・)

### ② 使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード (MasterCard) 90%

## ● 留学先宿舎について

- ・形態： ドミトリー
- ・家賃額： 週15,000円 (毛布・シーツ代込み)
- ・参考情報：洗濯は近所のランドリーを使用しました

## ● 語学力について

- ・現地で使用した言語：英語
- ・語学レベルUP： 自分の意見を相手に的確に伝えられるようになりました。
- ・適正レベル： 日常会話ができていれば最低限大丈夫。  
小難しい文法や語彙をマスターする必要はありません。

## ● ビザについて (取得した方)

短期間であればビザは不要ですが、KETAを取得する必要があります (費用は10,000ウォンでカード払い必須)。

## ● ネット環境及びその他の参考情報

- ・パソコンを持参したので、現地借りのWi-Fiを使用しました。訪問・受入先によってWi-Fiが強いところがありますが、セキュリティや外出のことを考えると自前で用意する方が無難です。
- ・受入先担当者とのコミュニケーションは密にしておくといいです (飲み水のことや土足の可否など)。
- ・韓国では買い物のレシートは発行されないことが多いので、必要なら店員さんに一言。

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
1日目	成田→仁川 (インチョン) へ移動	仁川→大田 (テジョン) へ移動
2日目	大学で講義を受講	PBL
3日目	国立生態園, 大田市街地の視察	
4日目	PBL成果発表	
5日目	研究室紹介	研究室配属 (耐震構造工学研究室)
6日目	研究室配属 (耐震構造工学研究室)	
7日目	国立博物館, 京城 (ソウル) 市街地の視察	
8日目	仁川→成田へ移動	



とある日のお昼ごはん。客人をもてなす文化が強く、おかずや漬物が大量に出ます。



大学付近の道路。韓国には急ぐ人が多いため、道路の安全対策は万全にしています。



研究室で仲良くなった3人組  
研究設備の違いや工夫をたくさん学びました。

## 短期留学

### 留学のタイトル：「日本語教育実習 in タイ」



留学先： タイ・バンコク  
サイアム大学  
留学期間： 2023年 3月～ 3月  
(2週間)

氏名： 中村 吏玖  
留学した時の学年： 2年  
学部・研究科名： 教育学部  
学科・課程名・コース名： 学校教育教員養成課程

#### ● 留学の内容

タイのサイアム大学にて、2週間の日本語教育実習に取り組みました。私は、タイの高校生を対象に日本文化（テーマ：もったいない文化）を教える授業とサイアム大学の日本語コミュニケーション学科の1年生を対象に「日本語学習法」の講義を担当しました。「日本語学習法」の講義では、漢字の成り立ちや日本人のコミュニケーション（上下と親疎関係に応じた敬語の使い分け）について講義しました。

#### ● 留学の動機

学校教育について学習する中で、海外にルーツを持つ児童・生徒を対象にした日本語学習支援の必要性を知り、日本語教育について興味を持ちました。実際の学習者を目の前にして日本語教育の実習に取り組みたいと思い、参加を希望しました。

#### ● 留学の成果

今回の日本語教育実習を通して、授業デザインや学習者との関わり方を学びました。学習者が興味を持てるような発問の作り方などを学ぶことができ、今年の夏に取り組んだ中学校での教育実習へ活かすことができました。また、タイの文化や慣習にも触れることができ、貴重な機会となりました。

#### ● スペシャルエピソード

私に関わった学習者の多くが、日本の文化などに関心を持っていると感じました。中でも、私の授業を受けた高校生が「ゴジラ」がとても好きだとわかり、たまたま持っていたシン・ゴジラのファイルをプレゼントしたところ、とても喜んでくれました。

#### ● これから留学したい人へアドバイス

初めての海外渡航でしたが、タイという国でよかったと感じます。海外では、様々な側面で文化の違いを感じる場面が想定されます。特に、タイの場合、車優先社会であるところが印象的でした。日本のように歩行者のために停車してくれることはありません。これはあくまで一例ですが、実際に文化の違いを実感して、実りの多い海外留学にして欲しいです。

## ● 留学費用について

① 総費用：260,000円

(内訳 渡航費97,000円、宿舍費46,000円、食費15,000円、ビザ・保険料12,000円、お土産代20,000円、SIMカード代2,000円…)

② 費用負担 自己負担30,000円、親からの支援160,000円、留学奨学金70,000円

③ 使ったお金の割合：現金65%、クレジットカード（イオン/JAL）30%、トラベルプリペイドカード（BTS 一日乗車券）5%、その他0%

★クレジットカードは、タッチ決済できるカードもあると便利です。（電車でタッチ決済利用可能のため）

## ● 留学先宿舎について

・形態：サービスアパートメント（Ban Sabai House）

・家賃額：日 額 2,400円（デポジット費2,000円含まない）

・参考情報：チェックイン時に現金で一括払いです。ただし、クレジットカードは使えません。デポジットはチェックアウト時に返金されます。

## ● 語学力について

・現地で使用した言語：英語・日本語

・語学レベルUP：英語を使ってコミュニケーションする力が身についた。（語学レベルUPは不明）

・適正レベル：英単語がある程度理解できれば十分だと思います。

## ● 単位互換について

日本語教育実習(1単位)/英語インターンシッププログラムB(2単位)

## ● ネット環境及びその他の参考情報

大学ならびに宿舎では、Wi-Fiが利用可能でした。ただ、実習時にスライドを使うと思いますので、アダプター（VGA/HDMI）の用意をおすすめします。（純正品があれば純正品の方がおすすめ）

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	教材研究	教材研究
火曜/2日目	教材研究	教材研究・打ち合わせ
水曜/3日目	教材研究	教材研究・打ち合わせ
木曜/4日目	教材研究・授業見学	教材研究・打ち合わせ
金曜/5日目	教材研究	教壇実習・フィードバック
土曜/6日目	観光	観光
日曜/7日目	自由行動	自由行動



戦場にかける橋



素敵なリゾート



ジム Thompson の家。一緒に行ったチューターさんにガイドツアーの通訳をしてもらいました！

## 短期留学

### 留学のタイトル：「タイでの英語教育実習」



留学先：タイ／バンコク  
プアンプログラム

留学期間：2023年 1月～（10日）

氏名：三浦 遥

留学した時の学年：3年

学部・研究科名：教育学部

学科・課程名・コース名：学校教育教員養成課程

小学校教育コース英語コース

#### ●留学の内容

このプログラムは英語で現地の中高生に日本の文化に関するテーマの授業を行うというものです。テーマは各自で決めることができ、2時間分の授業を構想しました。私は日本の和菓子为主题として、英語クラスを3クラス、日本語クラスを1クラス担当しました。学年やクラスのレベルが異なるため、同じ内容でも、内容の難易度や順番、使う英語を調整する必要がありました。

#### ●留学の動機

英語で授業をする経験を積みたかったこと、日本以外の国の教育現場を見てみたいと思ったことが大きな理由です。

#### ●留学の成果

日本語が全く使えない状況で授業をすることで、「何としても英語で伝えよう」と、分かりやすく簡潔なオールイングリッシュの授業をできるようになりました。また、同じクラスに2時間の授業を行うことから、クラスの特性に応じて内容の工夫・改善を加えるという、PDCAサイクルに則った授業づくりを学びました。

#### ●スペシャルエピソード

現地の先生方が私たちの授業の準備や運営、生活のサポートをしてくださいました。また、休日には観光地に連れて行ってくださり、一緒にご飯を食べたり、時にはアイスやクレープなどをご馳走になったりしました。先生方だけでなく、生徒や地域の方など出会う人々がとても温かく、親しみやすかったです。最終日のお別れ会では素敵な人たちとタイという国とお別れすることが寂しく涙が出るほどでした。

#### ●これから留学したい人へアドバイス

海外に行くことはもちろん、海外で授業をするという貴重な経験ができるのがこのプログラムの良さだと思います。また、一人で海外に行くことが不安な人も、このプログラムでは6人程度の学生と先生とともに渡航することができます。授業でもお互いの授業を参観しアドバイスをし合ったり、何かあった時も気軽に相談したりできるため、留学したいという強い気持ちはあるけど、勇気が出ないという人は是非このプログラムに参加してみてください！英語での授業力や実践力はもちろん、海外の人々とのコミュニケーションや文化の違いについても学ぶことができます。

## ● 留学費用について

①総費用：約20万円

(内訳 渡航費14万円、移動費2万円、滞在費1万円、食費1万円、ビザ・保険料5千円、お土産代他1万円)

②費用負担 自己負担5万円、親からの支援8万円、留学奨学金7万円

③使ったお金の割合：現金100%

## ● 留学先宿舎について

・形態：宿泊施設 (ホテル)

・家賃額：10日間 11300円 (光熱費含む)

・参考情報：コロナ禍だった為ホームステイできませんでしたが、宿泊したホテルにはWi-Fi、飲み水などがあり、徒歩3分ほどのところにはコインランドリーがありました。

## ● 語学力について

・現地で使用した言語：英語、日本語

・語学レベルUP：授業で用いる英語が身に付きました

・適正レベル：日常会話以上ができる程度

## ● ネット環境及びその他の参考情報

到着日に空港でSIMを8日分購入 (SIMフリーにしておく必要あり)

滞在先のホテル、配属の学校には無料Wi-Fiあり

1月のタイは夏で基本的には暑いですが、室内が極端に寒い場合が多いので、長袖を持っていくことをおすすめします。

持っていくとよいもの：薬 (胃薬)、スリッパ、日焼け止め、トイレトペーパーなど

## ● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	授業	授業・参観・ミーティング・観光 (放課後) など
火曜/2日目	〃	〃
水曜/3日目	〃	〃
木曜/4日目	〃	〃
金曜/5日目	〃	〃
土曜/6日目	観光 (現地の先生方と)	観光・夕食 (現地の先生方と)
日曜/7日目	観光	観光・夕食



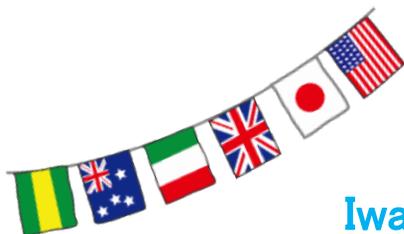
現地の生徒と授業後に



先生方との食事



Farewell Party



多言語多文化交流空間

## Iwate University Global Village グローバルビレッジ

### Iwate University Global Village（岩手大学グローバルビレッジ）とは？

「地域に顕在化した諸課題をグローバルな視点から解決し発信できる人材の育成」を目的として、2016年4月学生センターB棟1階に開設しました。

グローバルビレッジでは

- ・英語などの各種外国語学修支援
  - ・国際交流・異文化体験・日本文化紹介など、留学生と日本人学生との各種交流
  - ・イベントによる多文化理解促進
  - ・地域で活躍するグローバル人材による講演
  - ・地域コミュニティとの国際交流活動
- など、楽しく、ためになるイベントを開催しています。詳しくはカレンダー、Web情報をご覧ください。

### どんな人が参加するの？

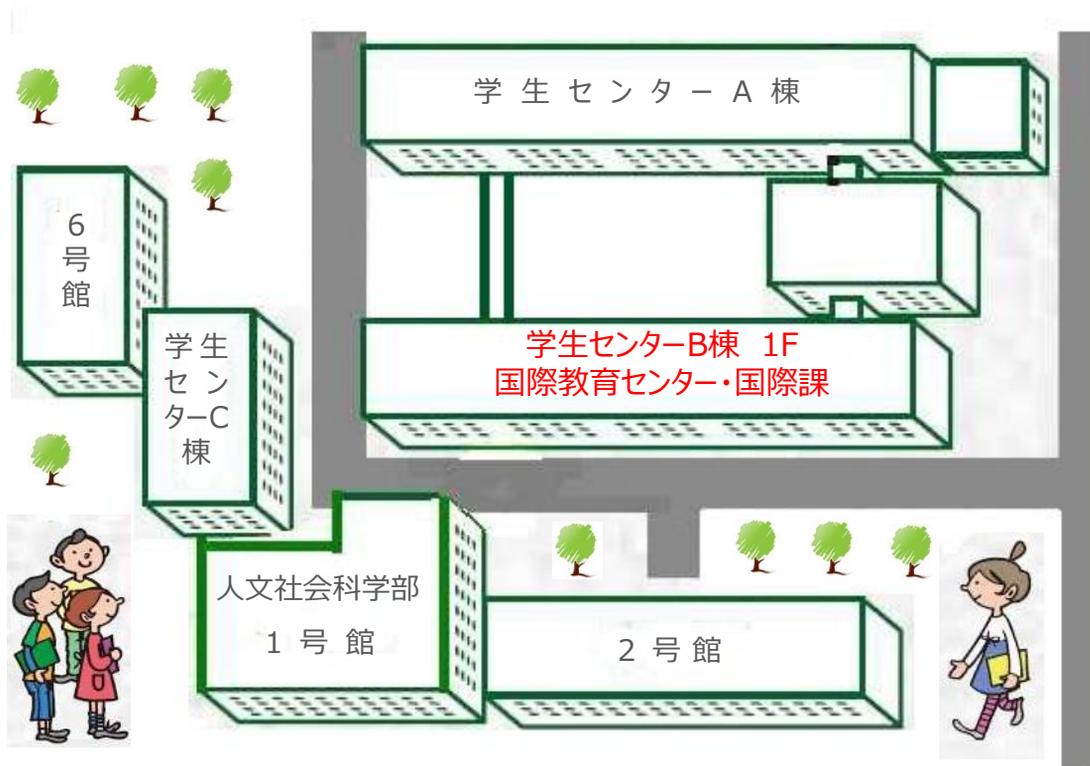
「留学生や様々な国の友達を作りたい」、「日本・岩手の文化を留学生に紹介したい」、「英語・多言語を使って異文化体験を試みたい」、「語学力をもっと鍛えたい」、「地域で活躍するグローバル人材とつながりたい」、そんな岩手大学の皆さんにお勧めです。一般の方にも参加いただけるイベント・講演会なども開催します。



詳しくはこちらまで：

 岩手大学グローバルビレッジホームページ   
<http://iuic.iwate-u.ac.jp/gv/event/>





留学に関心のある方、いつか留学してみたいという方を対象に個別相談を行っています。また「トビタテ！留学JAPAN」の申請サポートも行っています。希望する方は、メールで相談予約をしてください。

【お問い合わせ先】

国際教育センター 山内 亜美

電子メール： [yamauchi@iwate-u.ac.jp](mailto:yamauchi@iwate-u.ac.jp)

※相談希望日時をメールで第3希望までお知らせください。



## お問い合わせ先

**岩手大学国際教育センター**  
(学務部国際課)



岩手大学の国際交流

Iwate University International Office

住所：岩手県盛岡市上田三丁目18-34

電話：019-621-6057

電子メール：[gryugaku@iwate-u.ac.jp](mailto:gryugaku@iwate-u.ac.jp)

Web：<http://iuic.iwate-u.ac.jp/>



# 【国際月間用 動画まとめサイト】



留学を経験した岩大生が語っています！インタビュー版、  
パワースライドでの説明版の両方があります。ぜひご視聴  
ください！



岩手大学国際交流YouTube  
2023 岩手大学国際月間  
**Iwate University International Month**



## 掲載コンテンツ

- オンデマンド型海外留学体験報告会
- 海外協定校向け岩手大学IU-SEP（交換留学プログラム）オンライン説明会
- オンデマンド型海外留学経験卒業生と留学希望学生とのオンライントーク
- オンデマンド型教職員語学研修成果報告会



# 岩手大学国際交流のSNS

もご覧ください！！

留学や様々なイベントに関する情報が盛りだくさん！

**Facebook** **Twitter** **YouTube**



**Website**



**Instagram**



岩手大学国際交流

019-621-6076/6057

iuic@iwate-u.ac.jp

